

弘前大学アセスメント・ポリシー（学部）

（令和4年10月14日学長裁定第77号）

弘前大学は、各学部が卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める学位取得の要件に基づき、教育目標の到達度、学生の満足度などの学修成果に関してアセスメント（測定・評価）を実施し、教育課程の有効性について検証を行い、本学の教育改革、教育方法の改善及び学修支援等に活用します。

1 実施単位

アセスメントの単位は、機関レベル（大学全体）、教育課程レベル（各学部）、科目レベル（各授業）とする。

2 実施体制

アセスメントは、機関レベルでは教育推進機構、教育課程レベル及び科目レベルでは各学部等において、それぞれ実施する。

3 実施方法

(1) アセスメントは、以下について、アセスメント・チェックリストにより実施する。

- ・入学、進学、留年、退学等及び卒業・進路の状況
- ・教育活動、研究活動及び社会との連携等の状況
- ・カリキュラムチェック
- ・授業の開講、成績評価の状況
- ・学生支援の状況
- ・学修環境の整備状況
- ・アンケート調査（入学時（志望動機等）、在学時（授業評価、生活状況、進路希望等）、卒業時（大学の満足度等）、卒業後3年経過時（DPの有効性、就職先企業等に対する卒業生の評価等））
- ・その他（アセスメントに有効な取組等）

(2) アセスメントの結果は、教育推進機構会議等に報告し、本学の教育方法の改善等に活用する。

・アセスメント・チェックリスト（学部）

単位	調査・指標	時期	調査対象	調査内容	調査方法	実施機関	調査結果の活用方法
機関レベル	新入生アンケート	3月	入学予定者	志望理由等	Webアンケート	機構	入試改善
	VELC TEST	4月・7月・2月	1年次生	英語能力の把握	外部試験	機構	教育プログラム改善
	在籍等の状況	7月	各学部	入学、進学、留年、退学等及び卒業・進路の状況	組織評価の結果を利用	機構	DP検証、教育支援等
	教育・研究活動等	7月	各学部	教育・研究活動及び社会との連携等の状況	組織評価の結果を利用	機構	DP検証、教育支援等
	カリキュラムチェック	3月	各授業	DPとの整合	シラバス等の確認	機構（教養科目）	教育プログラム検証
	授業評価アンケート	7月・2月	各授業	授業方法等	学務情報システム	機構	授業方法等検証
	卒業時アンケート	3月	4年次生	カリキュラムの有効性 就業等の状況	学務情報システム	機構	教育プログラム検証 キャリア支援検証
	卒業3年後アンケート	6月	卒業3年後卒業生	DPの検証等	回答Webサイトを郵送	機構	DP検証
	就職先企業等アンケート	6月	卒業3年後卒業生	卒業生の評価 大学教育への要望等	回答Webサイトを郵送	機構	DP検証
	その他のアンケート	随時	各学部	実施部局による	実施結果を利用	機構	教育支援
教育課程レベル	在籍等の状況	7月	各学部	入学、進学、留年、退学等及び卒業・進路の状況	学部独自	学部	DP検証、教育支援
	カリキュラムチェック	3月	各授業	DPとの整合	シラバスの確認	学部	教育プログラム検証
	授業評価アンケート	随時	各授業	授業方法等	学部独自	独自に調査を実施する学部	授業方法等検証
	授業の開講・成績評価	随時	各授業	開講科目数・GPA等	統一調査フォーム	学部	授業方法等検証
	資格・免許等	随時	在学生	TOEIC等の成績 各資格・免許の取得状況	適宜	学部	教育プログラム検証
	卒業時アンケート	3月	4年次生	カリキュラムの有効性 就業等の状況	適宜	独自に調査を実施する学部	教育プログラム検証 キャリア支援検証
	卒後3年後アンケート	6月	卒後3年後卒業生	DPの検証等	機構調査結果を利用	学部	DP検証
	就職先企業等アンケート	6月	卒後3年後卒業生	卒業生の評価 大学教育への要望等	機構調査結果を利用	学部	DP検証
科目レベル	履修状況等	随時	各授業	履修者数・出欠	適宜	学部	教育プログラム検証
	カリキュラムチェック	3月	各授業	ルーブリック・科目ナンバリング	シラバスの確認	学部	教育プログラム検証
	授業評価アンケート	随時	各授業	授業方法等	学部独自	独自に調査を実施する学部	授業方法等検証
	成績評価	随時	各授業	成績分布	統一調査フォーム	学部	授業方法等検証
	資格・免許等	随時	在学生	TOEIC点数 各資格・免許の取得状況	適宜	学部	教育プログラム検証